



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 株式会社サクスバー ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9990 URL <http://www.sacs-bar.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木山 剛史
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 山田 陽 (TEL) 03-3654-5315
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	26,972	△1.7	1,722	△9.0	1,758	△8.3	1,051	△10.0
30年3月期第2四半期	27,426	0.0	1,894	△9.9	1,918	△9.9	1,168	△11.9

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 1,030百万円(△14.1%) 30年3月期第2四半期 1,199百万円(△14.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	35.69	—
30年3月期第2四半期	39.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	40,243	27,867	69.0
30年3月期	40,114	27,634	68.6

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 27,761百万円 30年3月期 27,526百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	27.00	27.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,524	1.4	3,929	3.4	3,939	2.1	2,304	3.7	78.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	31年3月期2Q	29,859,900株	30年3月期	29,859,900株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	402,715株	30年3月期	402,565株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	31年3月期2Q	29,457,287株	30年3月期2Q	29,457,435株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

平成30年11月19日(月)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や設備投資が堅調に推移するなど、緩やかな回復基調が続きました。

流通業界におきましては、消費者の節約志向が一段と強まり、厳しい経営環境が続きました。さらに、アパレルを始めとするファッション業界では大きなトレンドの変化もなく、また、「平成30年7月豪雨」、たび重なる大型台風の直撃、「北海道胆振東部地震」などの影響も受け、総じて売上が低調に推移しました。

このような状況下で、当社グループは店舗網の整備や商品構成の見直し等を進めてまいりましたが、当第2四半期連結累計期間の売上高は26,972百万円(前年同期比1.7%減)とほぼ前年同期並みに止まり、営業利益は1,722百万円(前年同期比9.0%減)、経常利益は1,758百万円(前年同期比8.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,051百万円(前年同期比10.0%減)となりました。

なお、当社グループの報告セグメントは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

事業部門ごとの状況は、以下のとおりであります。当社の100%子会社であり、雑貨の小売事業を営む株式会社カーニバルカンパニーを当期から連結対象としており、小売事業等に含めております。以下の数値につきましては、事業部門内の取引消去後かつ事業部門間の取引消去前のものを記載しております。

<小売事業等>

小売事業につきましては、7店舗の新規出店を行なうとともに、17店舗の退店を行ないました。さらに、株式会社カーニバルカンパニーの5店舗が加わり、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は650店舗となりました。

売上につきましては、既存店売上が前年同期比1.1%減とわずかに減少しました。財布・雑貨類のうち、財布は、スマホケースの売上貢献、小型財布のヒット等により同5.7%増と好調に推移しましたが、雑貨はヒット商品が乏しく、同3.2%減となりました。メンズ・トラベルバッグは、メンズバッグはビジネスリュックやスポーツブランドの商品が好調に推移し、同5.6%増となり、トラベルバッグは大型ケースの売上不振等により同11.0%減となりました。インポートバッグは、ブランドによる好不調があり、同0.0%増となりました。ハンドバッグは、プライベートブランドや提携ブランドの取扱いを増やしていますが、一部のブランドの売上が大きく低下したため、同5.5%減となりました。カジュアルバッグは、アパレルブランドとの提携商品の売上の減少が続き、同19.1%減となりました。この結果、当事業部門の売上高は25,393百万円(前年同期比1.8%減)となりました。

売上総利益率はインポートバッグ、カジュアルバッグの商品粗利益率の低下等により前年同期比0.2ポイント低下して48.0%となり、販売費及び一般管理費率は既存店売上の減少に伴い前年同期比0.4ポイント増加して42.2%となりました。

<製造・卸売事業>

製造・卸売事業につきましては、「LOJEL」ブランドのキャリーケースの売上は好調に推移したものの、大型フレームケースの売上の減少や、相次ぐ自然災害の影響等により、売上がやや減少しました。

この結果、当事業部門の売上高は1,850百万円(前年同期比1.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて128百万円増加し、40,243百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が730百万円減少、現金及び預金が700百万円減少した一方で、投資有価証券が977百万円増加、有形固定資産が537百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて104百万円減少し、12,375百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が230百万円増加した一方で、リース債務が86百万円減少、役員賞与引当金が26百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて232百万円増加し、27,867百万円となりました。これは主に、剰余金の配当795百万円による減少があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益1,051百万円の計上等によるものであります。

(自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて0.4ポイント増の69.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて700百万円減少し、3,145百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて633百万円収入が増加し、2,407百万円のプラスとなりました。主な収入要因は、税金等調整前四半期純利益の計上額1,651百万円、売上債権の減少額742百万円であります。一方、主な支出要因は、法人税等の支払額525百万円、たな卸資産の増加額295百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて1,751百万円支出が増加し、2,032百万円のマイナスとなりました。主な支出要因は、投資有価証券の取得による支出1,009百万円、新規出店及び改装等に伴う設備投資999百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて150百万円支出が増加し、1,105百万円のマイナスとなりました。主な支出要因は、配当金の支払額794百万円、リース債務の返済による支出278百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、平成30年5月9日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,873,941	3,173,607
受取手形及び売掛金	4,712,775	3,982,503
商品及び製品	13,343,619	13,680,045
原材料及び貯蔵品	42,648	57,132
その他	249,107	197,961
流動資産合計	22,222,092	21,091,250
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,372,684	3,130,904
土地	1,921,930	2,179,699
リース資産(純額)	993,890	942,112
その他(純額)	839,584	413,061
有形固定資産合計	6,128,089	6,665,778
無形固定資産		
	37,336	56,280
投資その他の資産		
投資有価証券	3,300,793	4,278,078
退職給付に係る資産	117,356	121,089
繰延税金資産	872,728	853,008
敷金及び保証金	6,812,009	6,666,730
その他	722,998	511,053
貸倒引当金	△98,689	—
投資その他の資産合計	11,727,196	12,429,961
固定資産合計	17,892,622	19,152,020
資産合計	40,114,715	40,243,271

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,710,827	3,941,640
1年内償還予定の社債	1,600,000	1,600,000
リース債務	450,452	429,169
未払法人税等	565,346	605,846
賞与引当金	353,189	342,080
役員賞与引当金	52,800	26,400
株主優待引当金	20,000	—
その他	2,316,293	2,075,274
流動負債合計	9,068,910	9,020,411
固定負債		
社債	200,000	200,000
リース債務	777,538	712,533
役員退職慰労引当金	129,762	133,875
退職給付に係る負債	1,083,364	1,104,839
繰延税金負債	28,416	28,311
資産除去債務	694,694	688,863
その他	497,112	486,743
固定負債合計	3,410,889	3,355,166
負債合計	12,479,799	12,375,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,986,400	2,986,400
資本剰余金	4,569,597	4,569,597
利益剰余金	19,930,731	20,186,848
自己株式	△109,708	△109,851
株主資本合計	27,377,021	27,632,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	192,683	170,631
退職給付に係る調整累計額	△42,983	△41,870
その他の包括利益累計額合計	149,699	128,761
新株予約権	108,195	105,937
純資産合計	27,634,916	27,867,693
負債純資産合計	40,114,715	40,243,271

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	27,426,409	26,972,954
売上原価	14,254,219	14,066,413
売上総利益	13,172,189	12,906,541
販売費及び一般管理費	11,278,155	11,183,852
営業利益	1,894,034	1,722,689
営業外収益		
受取利息	32,735	33,938
受取配当金	2,027	2,502
受取手数料	6,024	4,817
その他	13,022	23,938
営業外収益合計	53,809	65,197
営業外費用		
支払利息	22,404	22,988
その他	7,350	6,200
営業外費用合計	29,754	29,188
経常利益	1,918,089	1,758,698
特別利益		
新株予約権戻入益	4,865	2,257
特別利益合計	4,865	2,257
特別損失		
固定資産除却損	24,064	37,235
店舗閉鎖損失	17,854	26,642
減損損失	30,449	21,046
災害による損失	—	24,144
特別損失合計	72,368	109,069
税金等調整前四半期純利益	1,850,586	1,651,886
法人税、住民税及び事業税	645,790	571,565
法人税等調整額	36,240	28,856
法人税等合計	682,030	600,421
四半期純利益	1,168,556	1,051,464
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,168,556	1,051,464

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,168,556	1,051,464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,026	△22,052
退職給付に係る調整額	△275	1,113
その他の包括利益合計	30,751	△20,938
四半期包括利益	1,199,307	1,030,525
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,199,307	1,030,525
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,850,586	1,651,886
減価償却費	454,238	465,140
減損損失	30,449	21,046
賞与引当金の増減額(△は減少)	△39,134	△11,109
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,450	△26,400
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,268	4,112
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	33,364	21,474
受取利息及び受取配当金	△34,762	△36,441
支払利息	22,404	22,988
固定資産除却損	24,064	37,235
売上債権の増減額(△は増加)	△36,299	742,694
たな卸資産の増減額(△は増加)	△352,625	△295,175
仕入債務の増減額(△は減少)	526,130	221,420
未払消費税等の増減額(△は減少)	△28,836	△32,568
社債発行費	2,259	—
その他	77,561	134,786
小計	2,516,218	2,921,090
利息及び配当金の受取額	34,412	34,463
利息の支払額	△22,402	△22,986
法人税等の支払額	△754,432	△525,610
法人税等の還付額	44	141
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,773,840	2,407,098
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△262,999	△999,481
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	11,135
有形固定資産の除却による支出	△18,527	△35,426
投資有価証券の取得による支出	—	△1,009,070
投資活動によるキャッシュ・フロー	△281,526	△2,032,841
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△12,500	—
割賦未払金の増加額	120,865	127,632
割賦未払金の減少額	△137,315	△160,639
リース債務の返済による支出	△231,222	△278,277
配当金の支払額	△793,054	△794,273
社債の発行による収入	97,740	—
自己株式の取得による支出	—	△143
財務活動によるキャッシュ・フロー	△955,486	△1,105,701
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,807	146
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	538,634	△731,298
現金及び現金同等物の期首残高	3,440,623	3,846,241
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	30,964
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,979,258	3,145,907

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの報告セグメントは、単一セグメントであるため、セグメント情報について記載しておりません。